

終末期医療に関する調査

【対象】 介護療養型医療施設連絡協議会会員（558病院）

【回答病院数】 358病院

【回答者数】 7,874名

【回答者職種】 医師(926名) / 看護職員(3,470名) / 介護職員(3,478名)

平成15年6月実施

問1〔共通〕 最近、終末期医療に関して「安楽死」「尊厳死」「リビングウィル(書面による生前の意思表示)」などの問題が話題になっていますが、あなたはこれらに関心がありますか。(○は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.非常に関心がある	423	45.7	1,326	38.2	1,157	33.3	2,906	36.9
2.まあ関心がある	448	48.4	1,969	56.7	2,013	57.9	4,430	56.3
3.あまり関心がない	38	4.1	148	4.3	273	7.8	459	5.8
4.ほとんど関心がない	7	0.8	10	0.3	18	0.5	35	0.4
無回答	10	1.1	17	0.5	17	0.5	44	0.6
合計	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

問2〔共通〕 あなたご自身が治る見込みがない病気に罹患した場合、その病名や病気の見通し(治療期間、余命)について知りたいとお考えになりますか。(○は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.知りたい	800	86.4	2,930	84.4	2,837	81.6	6,567	83.4
2.知りたくない	38	4.1	163	4.7	247	7.1	448	5.7
3.わからない	81	8.7	366	10.5	382	11.0	829	10.5
無回答	7	0.8	11	0.3	12	0.3	30	0.4
合計	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

問2補問 (問2で1をお選びの方に)この場合、病名や病気の見通しについて直接担当医師から説明を受けますか。(○は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.受ける	788	98.5	2,859	97.6	2,662	93.8	6,309	96.1
2.家族に聞いてもらい、その話を聞く	4	0.5	32	1.1	128	4.5	164	2.5
3.その他	6	0.8	16	0.5	19	0.7	41	0.6
無回答	2	0.3	23	0.8	28	1.0	53	0.8
合計	800	100.0	2,930	100.0	2,837	100.0	6,567	100.0

問3-1〔共通〕 あなたご自身が痛みを伴い、しかも治る見込みがなく、非常に死期が迫っている(1ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、心肺蘇生措置についてどのようにお考えになりますか。(○は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.心肺蘇生措置は続けられるべきである	24	2.6	39	1.1	208	6.0	271	3.4
2.心肺蘇生措置はやめたほうがよい	331	35.7	1,846	53.2	1,955	56.2	4,132	52.5
3.心肺蘇生措置はやめるべきである	500	54.0	1,297	37.4	763	21.9	2,560	32.5
4.わからない	41	4.4	236	6.8	496	14.3	773	9.8
無回答	30	3.2	52	1.5	56	1.6	138	1.8
合計	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

問3-2〔共通〕 あなたご自身が痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、単なる延命だけのための医療についてどのようにお考えになりますか。(○は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.単なる延命医療でも続けられるべきである	56	6.0	154	4.4	305	8.8	515	6.5
2.単なる延命医療はやめたほうがよい	420	45.4	2,094	60.3	2,082	59.9	4,596	58.4
3.単なる延命医療はやめるべきである	364	39.3	945	27.2	694	20.0	2,003	25.4
4.わからない	55	5.9	214	6.2	335	9.6	604	7.7
無回答	31	3.3	63	1.8	62	1.8	156	2.0
合計	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

問3-2補問 (問3-2で2か3をお選びの方に)この場合単なる延命医療を中止するとき、具体的にはどのような方法が考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.あらゆる苦痛を和らげることに重点をおく方法	648	82.7	2,436	80.2	1,785	64.3	4,869	73.8
2.単なる延命医療を中止し、自然に死期を迎えさせる様な方法	113	14.4	481	15.8	743	26.8	1,337	20.3
3.医師によって積極的な方法で生命を短縮させるような方法	18	2.3	80	2.6	187	6.7	285	4.3
4.わからない	3	0.4	26	0.9	51	1.8	80	1.2
無回答	2	0.3	16	0.5	10	0.4	28	0.4
合計	784	100.0	3,039	100.0	2,776	100.0	6,599	100.0

問4〔医師〕 あなたの担当している患者が治る見込みがない病気に罹患した場合、その病名や病気の見通し(治療期間、余命)について、まずどなたに説明をしますか。(〇は1つ)

	医師	
	回答者数	%
1.患者本人に説明する	19	2.1
2.患者本人の状況を見て患者に説明するかどうか判断する	360	38.9
3.家族に説明する	533	57.6
4.患者本人、家族ともに説明しない	0	0.0
5.わからない	4	0.4
無回答	10	1.1
合計	926	100.0

問4〔看護職員・介護職員〕 患者が治る見込みがない病気に罹患した場合、その病名や病気の見通し(治療期間、余命)について、先ずどなたに説明した方がよいとお考えになりますか。(〇は1つ)

	看護職員		介護職員		合計	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.患者本人に説明すべきである	220	6.3	152	4.4	372	5.4
2.患者本人の状況を見て患者に説明するかどうか判断した方がよい	2,094	60.3	1,514	43.5	3,608	51.9
3.家族に説明した方がよい	1,017	29.3	1,631	46.9	2,648	38.1
4.患者本人、家族ともに説明しない方がよい	74	2.1	77	2.2	151	2.2
5.わからない	35	1.0	59	1.7	94	1.4
無回答	30	0.9	45	1.3	75	1.1
合計	3,470	100.0	3,478	100.0	6,948	100.0

問5〔医師〕 あなたは病名や病気の見通しについて、患者や家族が納得のいく説明ができていますか。(〇は1つ)

	医師	
	回答者数	%
1.できている	179	19.3
2.ある程度できている	643	69.4
3.できていない	29	3.1
4.わからない	71	7.7
無回答	4	0.4
合計	926	100.0

問5〔看護職員・介護職員〕 病名や病気の見通しについて、患者や家族が納得のいく説明がなされているとあなたは考えていますか。(〇は1つ)

	看護職員		介護職員		合計	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.できている	208	6.0	409	11.8	617	8.9
2.ある程度できている	2,043	58.9	1,947	56.0	3,990	57.4
3.できていない	823	23.7	446	12.8	1,269	18.3
4.わからない	375	10.8	661	19.0	1,036	14.9
無回答	21	0.6	15	0.4	36	0.5
合計	3,470	100.0	3,478	100.0	6,948	100.0

問6〔医師〕 あなたの担当している患者が治る見込みがない病気に罹患した場合、その治療方針を決定するに当たり、先ずどなたの意見を聞かれますか。(○は1つ)

	医師	
	回答者数	%
1.患者本人の意見を聞く	51	5.5
2.患者本人の状況を見て誰にするかを判断する	497	53.7
3.家族の意見を聞く	368	39.7
4.患者本人、家族ともに意見を聞かない	2	0.2
5.わからない	4	0.4
無回答	4	0.4
合計	926	100.0

問6〔看護職員・介護職員〕 あなたの担当している患者が治る見込みがない病気に罹患した場合、その治療方針を決定するに当たり、先ずどなたの意見を聞いた方がよいとお考えになりますか。(○は1つ)

	看護職員		介護職員		合計	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.患者本人の意見を聞いた方がよい	428	12.3	371	10.7	799	11.5
2.患者本人の状況を見て誰にするかを判断した方がよい	2,414	69.6	2,134	61.4	4,548	65.5
3.家族の意見を聞いた方がよい	564	16.3	821	23.6	1,385	19.9
4.患者本人、家族ともに意見を聞かない方がよい	25	0.7	34	1.0	59	0.8
5.わからない	25	0.7	103	3.0	128	1.8
無回答	14	0.4	15	0.4	29	0.4
合計	3,470	100.0	3,478	100.0	6,948	100.0

問7〔共通〕 あなたの担当している患者が痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定した)場合、単なる延命だけのための医療についてどのようにお考えになりますか。(○は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.単なる延命医療でも続けられるべきである	71	7.7	235	6.8	481	13.8	787	10.0
2.単なる延命医療はやめたほうがよい	582	62.9	2,292	66.1	2,017	58.0	4,891	62.1
3.単なる延命医療はやめるべきである	200	21.6	523	15.1	281	8.1	1,004	12.8
4.わからない	64	6.9	399	11.5	685	19.7	1,148	14.6
無回答	9	1.0	21	0.6	14	0.4	44	0.6
合計	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

問7補問1（問7で2か3をお選びの方に）この場合単なる延命医療を中止するとき、具体的にはどのような方法が考えられますか。お考えに近いものをお選びください。（○は1つ）

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.あらゆる苦痛を和らげること重点をおく方法	646	82.6	2,247	79.8	1,585	69.0	4,478	76.0
2.単なる延命医療を中止し、自然に死期を迎えさせる様な方法	129	16.5	471	16.7	574	25.0	1,174	19.9
3.医師によって積極的な方法で生命を短縮させるような方法	4	0.5	55	2.0	95	4.1	154	2.6
4.わからない	2	0.3	29	1.0	33	1.4	64	1.1
無回答	1	0.1	13	0.5	11	0.5	25	0.4
合計	782	100.0	2,815	100.0	2,298	100.0	5,895	100.0

問7補問2（補問1で3をお選びの方に）このような方法がなされるとすると、その時にどのような条件が必要となるとお考えでしょうか。あなたのお考えに近いものをいくつでもお選びください。（○はいくつでも）

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.患者が不治の病に冒され、その死が目前に迫っていること	3	75.0	24	43.6	31	32.6	58	37.7
2.患者の痛みが甚だしく、これを見るに忍びないほどであること	3	75.0	36	65.5	56	58.9	95	61.7
3.痛みからの解放を目的とした治療が十分なされていること	2	50.0	26	47.3	31	32.6	59	38.3
4.患者本人の強い要請があること	2	50.0	29	52.7	49	51.6	80	51.9
5.方針決定が担当医だけでなく複数の医師などによりなされること	2	50.0	24	43.6	23	24.2	49	31.8
6.医師が十分に患者に説明し、患者が納得した後で行われること	1	25.0	31	56.4	41	43.2	73	47.4
7.医師の手によれない場合、世間が納得できる事情があること	1	25.0	4	7.3	16	16.8	21	13.6
8.方法が常識的にも妥当なものとして認め得るものであること	3	75.0	11	20.0	21	22.1	35	22.7
9.その他	0	0.0	0	0.0	3	3.2	3	1.9
10.わからない	0	0.0	0	0.0	2	2.1	2	1.3
無回答	1	25.0	1	1.8	4	4.2	6	3.9
回答者数	4	100.0	55	100.0	95	100.0	154	100.0

問8-1〔共通〕 あなたの担当している患者が痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)場合、療養生活はどこを薦めますか。(○は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.なるべく早く今まで通った医療機関に入院を薦める	67	7.2	92	2.7	252	7.2	411	5.2
2.なるべく早く緩和ケア病棟に入院を薦める	125	13.5	642	18.5	869	25.0	1,636	20.8
3.自宅で療養し、必要になればそれまでの医療機関に入院を薦める	255	27.5	490	14.1	593	17.1	1,338	17.0
4.自宅で療養し、必要になれば緩和ケア病棟に入院を薦める	342	36.9	1,764	50.8	1,233	35.5	3,339	42.4
5.自宅で最期まで療養を薦める	48	5.2	170	4.9	184	5.3	402	5.1
6.専門的医療機関で積極的な治療を薦める	3	0.3	6	0.2	55	1.6	64	0.8
7.老人ホームに入所を薦める	0	0.0	1	0.0	5	0.1	6	0.1
8.その他	49	5.3	182	5.2	94	2.7	325	4.1
9.わからない	17	1.8	89	2.6	157	4.5	263	3.3
無回答	20	2.2	34	1.0	36	1.0	90	1.1
合計	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

問8-2〔共通〕 自宅で最期まで療養できるとお考えになりますか。(○は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.実現可能である	236	25.5	852	24.6	602	17.3	1,690	21.5
2.実現困難である	502	54.2	1,821	52.5	1,947	56.0	4,270	54.2
3.わからない	150	16.2	707	20.4	863	24.8	1,720	21.8
無回答	38	4.1	90	2.6	66	1.9	194	2.5
合計	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

問8-2補問 (問8-2で2をお選びの方に)実現できないとお考えになる具体的な理由はどんなことでしょうか。お考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.往診してくれるかかりつけの医師がいない	192	38.2	486	26.7	399	20.5	1,077	25.2
2.訪問看護体制が整っていない	179	35.7	418	23.0	352	18.1	949	22.2
3.訪問介護体制が整っていない	117	23.3	272	14.9	240	12.3	629	14.7
4.24時間相談にのってくれるところがない	179	35.7	567	31.1	445	22.9	1,191	27.9
5.介護してくれる家族がいない	126	25.1	574	31.5	456	23.4	1,156	27.1
6.介護してくれる家族に負担がかかる	332	66.1	1,430	78.5	1,414	72.6	3,176	74.4
7.症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安である	253	50.4	1,014	55.7	1,364	70.1	2,631	61.6
8.症状が急に悪くなったとき、すぐ病院に入院できるか不安である	165	32.9	684	37.6	646	33.2	1,495	35.0
9.居住環境が整っていない	137	27.3	601	33.0	679	34.9	1,417	33.2
10.経済的に負担が大きい	65	12.9	486	26.7	562	28.9	1,113	26.1
11.その他	28	5.6	41	2.3	24	1.2	93	2.2
無回答	1	0.2	3	0.2	4	0.2	8	0.2
回答者数	502	100.0	1,821	100.0	1,947	100.0	4,270	100.0

問9-1〔共通〕あなたは世界保健機関(WHO)が作成した「WHO方式癌疼痛治療法」をご存じですか。(〇は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.あることを知っている	253	27.3	1,039	29.9	670	19.3	1,962	24.9
2.内容をある程度知っている	303	32.7	248	7.1	143	4.1	694	8.8
3.内容をよく知っている	84	9.1	41	1.2	18	0.5	143	1.8
4.知らない	257	27.8	2,063	59.5	2,582	74.2	4,902	62.3
無回答	29	3.1	79	2.3	65	1.9	173	2.2
合計	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

問9-2〔共通〕あなたは、モルヒネの使用にあたって、有効性と副作用について、患者にわかりやすく具体的に説明することができますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.説明できる	330	35.6	288	8.3	25	0.7	643	8.2
2.多少は説明できる	509	55.0	2,264	65.2	582	16.7	3,355	42.6
3.説明できない	42	4.5	680	19.6	2,322	66.8	3,044	38.7
4.その他	5	0.5	19	0.5	22	0.6	46	0.6
5.わからない	23	2.5	184	5.3	498	14.3	705	9.0
無回答	17	1.8	35	1.0	29	0.8	81	1.0
合計	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

問10〔共通〕 あなたご自身が、持続的植物状態で治る見込みがないと診断された場合、単なる延命医療についてどのようにお考えになりますか。(○は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.単なる延命医療でも続けられるべきである	65	7.0	122	3.5	275	7.9	462	5.9
2.単なる延命医療はやめたほうがよい	421	45.5	1,914	55.2	1,920	55.2	4,255	54.0
3.単なる延命医療はやめるべきである	365	39.4	1,191	34.3	950	27.3	2,506	31.8
4.わからない	61	6.6	223	6.4	318	9.1	602	7.6
無回答	14	1.5	20	0.6	15	0.4	49	0.6
合計	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

問10補問1 (問10で2か3をお選びの方に)この場合単なる延命医療を中止するとき、具体的にはどのような時期に中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.意識不明の状態から回復しないと診断されたとき	261	33.2	899	29.0	956	33.3	2,116	31.3
2.生命の助かる見込みがないと診断されたとき	168	21.4	592	19.1	520	18.1	1,280	18.9
3.生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき	331	42.1	1,473	47.4	1,263	44.0	3,067	45.4
4.わからない	25	3.2	123	4.0	120	4.2	268	4.0
無回答	1	0.1	18	0.6	11	0.4	30	0.4
合計	786	100.0	3,105	100.0	2,870	100.0	6,761	100.0

問10補問2 (問10で2か3をお選びの方に)この場合単なる延命医療を中止するとき、具体的にはどのような治療を中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.生命維持の特別な治療は中止してよいが、それ以外は続ける	509	64.8	2,137	68.8	1,675	58.4	4,321	63.9
2.一切の治療は中止してもよい	158	20.1	523	16.8	627	21.8	1,308	19.3
3.その他	23	2.9	103	3.3	51	1.8	177	2.6
4.わからない	37	4.7	105	3.4	259	9.0	401	5.9
無回答	59	7.5	237	7.6	258	9.0	554	8.2
合計	786	100.0	3,105	100.0	2,870	100.0	6,761	100.0

問11〔共通〕では、あなたの担当している患者が持続的植物状態で治る見込みがない場合、単なる延命医療についてどのようにお考えになりますか。(○は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.単なる延命医療でも続けられるべきである	109	11.8	308	8.9	603	17.3	1,020	13.0
2.単なる延命医療はやめたほうがよい	542	58.5	2,186	63.0	1,775	51.0	4,503	57.2
3.単なる延命医療はやめるべきである	160	17.3	395	11.4	245	7.0	800	10.2
4.わからない	93	10.0	549	15.8	832	23.9	1,474	18.7
無回答	22	2.4	32	0.9	23	0.7	77	1.0
合計	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

問11補問1 (問11で2か3をお選びの方に)この場合単なる延命医療を中止するとき、具体的にはどのような時期に中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.意識不明の状態から回復しないと診断されたとき	136	19.4	437	16.9	407	20.1	980	18.5
2.生命の助かる見込みがないと診断されたとき	165	23.5	569	22.0	400	19.8	1,134	21.4
3.生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき	375	53.4	1,476	57.2	1,114	55.1	2,965	55.9
4.わからない	24	3.4	93	3.6	91	4.5	208	3.9
無回答	2	0.3	6	0.2	8	0.4	16	0.3
合計	702	100.0	2,581	100.0	2,020	100.0	5,303	100.0

問11補問2 (問11で2か3をお選びの方に)この場合単なる延命医療を中止するとき、具体的にはどのような治療を中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.生命維持の特別な治療は中止してよいが、それ以外は続ける	545	77.6	2,105	81.6	1,449	71.7	4,099	77.3
2.一切の治療は中止してもよい	73	10.4	217	8.4	262	13.0	552	10.4
3.その他	23	3.3	59	2.3	23	1.1	105	2.0
4.わからない	34	4.8	88	3.4	183	9.1	305	5.8
無回答	27	3.8	112	4.3	103	5.1	242	4.6
合計	702	100.0	2,581	100.0	2,020	100.0	5,303	100.0

問11補問3（補問2で1をお選びの方に）続ける必要があるとお考えになる医療はどれですか。あなたのお考えに近いものをお選びください。（〇はいくつでも）

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.経管栄養(胃ろうを含む)	353	64.8	871	41.4	463	32.0	1,687	41.2
2.点滴(維持輸液)	432	79.3	1,217	57.8	701	48.4	2,350	57.3
3.中心静脈経由の高カロリー輸液	103	18.9	335	15.9	116	8.0	554	13.5
4.自動血圧計による血圧監視	129	23.7	549	26.1	451	31.1	1,129	27.5
5.心電図モニター	238	43.7	1,043	49.5	732	50.5	2,013	49.1
6.気管切開	39	7.2	64	3.0	46	3.2	149	3.6
7.心臓マッサージ	11	2.0	70	3.3	66	4.6	147	3.6
8.昇圧剤の投与	54	9.9	156	7.4	85	5.9	295	7.2
9.床ずれの手当	470	86.2	1,946	92.4	1,261	87.0	3,677	89.7
10.抗生物質の投与	258	47.3	541	25.7	186	12.8	985	24.0
11.輸血	51	9.4	84	4.0	58	4.0	193	4.7
12.全身清拭	467	85.7	1,905	90.5	1,170	80.7	3,542	86.4
13.喀痰吸引	498	91.4	1,885	89.5	1,048	72.3	3,431	83.7
14.留置カテーテル導尿	340	62.4	964	45.8	611	42.2	1,915	46.7
15.眼の乾燥防止	397	72.8	1,416	67.3	682	47.1	2,495	60.9
16.酸素吸入	389	71.4	1,364	64.8	741	51.1	2,494	60.8
17.その他	10	1.8	51	2.4	11	0.8	72	1.8
18.わからない	0	0.0	7	0.3	36	2.5	43	1.0
無記入	6	1.1	26	1.2	27	1.9	59	1.4
回答者数	545	100.0	2,105	100.0	1,449	100.0	4,099	100.0

問12〔共通〕 あなた自身が高齢となり、脳血管障害や痴呆等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない疾病に侵されたと診断された場合、どこで最期まで療養したいと思いますか。(〇は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.自宅	425	45.9	1,356	39.1	1,241	35.7	3,022	38.4
2.一般の急性期病院	14	1.5	61	1.8	101	2.9	176	2.2
3.介護療養型医療施設、又は長期療養を目的とした病院	293	31.6	961	27.7	992	28.5	2,246	28.5
4.介護老人保健施設	28	3.0	133	3.8	146	4.2	307	3.9
5.介護老人福祉施設	43	4.6	491	14.1	598	17.2	1,132	14.4
6.その他	30	3.2	82	2.4	66	1.9	178	2.3
7.わからない	85	9.2	352	10.1	316	9.1	753	9.6
無回答	8	0.9	34	1.0	18	0.5	60	0.8
合計	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

問12補問1 (問12で1をお選びの方に)なぜ、自宅で最期まで療養したいと思いますか。(〇はいくつでも)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.住み慣れた場所で最期を迎えたいので	275	64.7	873	64.4	839	67.6	1,987	65.8
2.最期まで自分の好きなように過ごしたいので	259	60.9	862	63.6	689	55.5	1,810	59.9
3.家族との時間を多くしたいので	236	55.5	729	53.8	594	47.9	1,559	51.6
4.家族に看取られて最期を迎えたいので	166	39.1	595	43.9	460	37.1	1,221	40.4
5.病院では望むような状態で死ねない	70	16.5	261	19.2	196	15.8	527	17.4
6.家族や知人が自宅で最期を迎えたので	10	2.4	60	4.4	67	5.4	137	4.5
7.その他	6	1.4	13	1.0	12	1.0	31	1.0
無回答	0	0.0	0	0.0	3	0.2	3	0.1
回答者数	425	100.0	1,356	100.0	1,241	100.0	3,022	100.0

問12補問2 (問12で1以外をお選びの方に)なぜ、自宅以外で最期まで療養したいと思いますか。(〇は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.家族の介護などの負担が大きいから	336	67.1	1,541	72.9	1,546	69.1	3,423	70.5
2.かかりつけ医など最期を看取ってくれる人がいないため	8	1.6	21	1.0	40	1.8	69	1.4
3.自宅で最期を迎えるのは一般的でないため	2	0.4	1	0.0	2	0.1	5	0.1
4.経済的に負担が大きいから	1	0.2	19	0.9	31	1.4	51	1.1
5.最期に痛み等に苦しむかもしれないから	20	4.0	81	3.8	90	4.0	191	3.9
6.緊急時、家族へ迷惑をかけるかもしれないから	27	5.4	111	5.3	170	7.6	308	6.3
7.家族が希望しない	6	1.2	10	0.5	9	0.4	25	0.5
8.それまでかかっていた病院スタッフに最期までみてほしいから	14	2.8	21	1.0	65	2.9	100	2.1
9.わからない	44	8.8	109	5.2	95	4.2	248	5.1
無回答	43	8.6	200	9.5	189	8.4	432	8.9
合計	501	100.0	2,114	100.0	2,237	100.0	4,852	100.0

問12補問3（問12で1以外をお選びの方に）あなたはなぜ自宅で最期まで療養するのは、困難だと思ったのですか。（〇はいくつでも）

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.往診してくれる医師がないから	60	12.0	225	10.6	238	10.6	523	10.8
2.訪問看護体制が整っていないから	94	18.8	262	12.4	197	8.8	553	11.4
3.訪問介護体制が整っていないから	74	14.8	231	10.9	176	7.9	481	9.9
4.24時間相談にのってくれるところがないから	73	14.6	302	14.3	242	10.8	617	12.7
5.介護してくれる家族がないから	91	18.2	417	19.7	352	15.7	860	17.7
6.自宅では、緊急時に家族に迷惑をかけるかもしれないから	248	49.5	1,071	50.7	1,208	54.0	2,527	52.1
7.居住環境が整っていないから	82	16.4	503	23.8	587	26.2	1,172	24.2
8.経済的に負担が大きいから	33	6.6	461	21.8	492	22.0	986	20.3
9.自宅で最期を迎えるのは、一般的ではないから	9	1.8	17	0.8	23	1.0	49	1.0
10.自宅では、最期に痛み等に苦しむかもしれないから	94	18.8	370	17.5	386	17.3	850	17.5
11.わからない	30	6.0	68	3.2	91	4.1	189	3.9
12.その他	48	9.6	172	8.1	114	5.1	334	6.9
無回答	73	14.6	365	17.3	383	17.1	821	16.9
回答者数	501	100.0	2,114	100.0	2,237	100.0	4,852	100.0

問13〔共通〕 あなたの担当している患者が高齢となり、脳血管障害や痴呆等によって日常生活が困難であり、さらに、治る見込みのない状態になった場合、どこで最期まで療養することを薦めますか。（〇は1つ）

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.自宅	235	25.4	710	20.5	501	14.4	1,446	18.4
2.一般病院	14	1.5	58	1.7	106	3.0	178	2.3
3.介護療養型医療施設、又は長期療養を目的とした病院	419	45.2	1,524	43.9	1,580	45.4	3,523	44.7
4.介護老人保健施設	25	2.7	127	3.7	127	3.7	279	3.5
5.介護老人福祉施設	63	6.8	342	9.9	435	12.5	840	10.7
6.その他	51	5.5	253	7.3	137	3.9	441	5.6
7.わからない	88	9.5	392	11.3	538	15.5	1,018	12.9
無回答	31	3.3	64	1.8	54	1.6	149	1.9
合計	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

問14-1〔共通〕「治る見込みがなく、死期が近いときには単なる延命医療を拒否することをあらかじめ書面に記しておき、がんの末期などで実際にそのような状態になり、本人の意思を直接確かめられないときはその書面に従って治療方針を決定する。」(リビング・ウィル)という考え方について、あなたはどのようにお考えですか。(〇は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.賛成する	705	76.1	2,721	78.4	2,359	67.8	5,785	73.5
2.患者の意思の尊重には賛成するが、書面にする必要はない	110	11.9	410	11.8	475	13.7	995	12.6
3.賛成できない	22	2.4	43	1.2	73	2.1	138	1.8
4.その他	18	1.9	52	1.5	43	1.2	113	1.4
5.わからない	44	4.8	211	6.1	502	14.4	757	9.6
無回答	27	2.9	33	1.0	26	0.7	86	1.1
合計	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

問14-1補問1 (問14-1で1をお選びの方に)書面による本人の意思表示という方法について、わが国ではどのように扱われるのが適切だとお考えですか。(〇は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.そのような書面が有効であるという法律を制定すべきである	313	44.4	1,061	39.0	883	37.4	2,257	39.0
2.医師が家族と相談の上その希望を尊重し治療方針を決定する	382	54.2	1,601	58.8	1,414	59.9	3,397	58.7
3.その他	2	0.3	9	0.3	10	0.4	21	0.4
4.わからない	7	1.0	39	1.4	47	2.0	93	1.6
無回答	1	0.1	11	0.4	5	0.2	17	0.3
合計	705	100.0	2,721	100.0	2,359	100.0	5,785	100.0

問14-1補問2 (問14-1で1をお選びの方に)死期が近い時の治療方針についての意思について入院(入所)前、入院(入所)時、あるいは、入院(入所)後に、病院や介護施設(老人ホーム)から、書面により患者の意思を尋ねるという考え方についてどのように思いますか。(〇は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.賛成する	504	71.5	2,025	74.4	1,684	71.4	4,213	72.8
2.反対である	43	6.1	68	2.5	73	3.1	184	3.2
3.わからない	112	15.9	417	15.3	387	16.4	916	15.8
無回答	46	6.5	211	7.8	215	9.1	472	8.2
合計	705	100.0	2,721	100.0	2,359	100.0	5,785	100.0

問14-1補問3 (問14-1で1をお選びの方に)書面に残すとしたらいつの時期が良いと思いますか。(○は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.入院する以前に書類として残した方が良い	150	21.3	499	18.3	458	19.4	1,107	19.1
2.入院時に書面として残したほうが良い	178	25.2	743	27.3	706	29.9	1,627	28.1
3.入院後、ある時期に書面として残した方が良い	75	10.6	500	18.4	338	14.3	913	15.8
4.時期は、いつでもかまわない	191	27.1	562	20.7	443	18.8	1,196	20.7
5.わからない	21	3.0	107	3.9	109	4.6	237	4.1
無回答	90	12.8	310	11.4	305	12.9	705	12.2
合計	705	100.0	2,721	100.0	2,359	100.0	5,785	100.0

問14-2[医師] (全員の方に)このような書面について、あなた自身はその内容を尊重しますか。(○は1つ)

	医師	
	回答者数	%
1.尊重する	581	62.7
2.尊重せざるを得ない	142	15.3
3.尊重しない	5	0.5
4.その時の状況による	147	15.9
5.その他	10	1.1
6.わからない	10	1.1
無回答	31	3.3
合計	926	100.0

問14-2[看護職員・介護職員] (全員の方に)このような書面を見せれば、医師はその内容を尊重してくれると思いますか。(○は1つ)

	看護職員		介護職員		合計	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.そう思う	583	16.8	472	13.6	1,055	15.2
2.そうせざるを得ないと思う	632	18.2	524	15.1	1,156	16.6
3.そうは思わない	127	3.7	203	5.8	330	4.7
4.その時の状況による	1,905	54.9	1,884	54.2	3,789	54.5
5.その他	41	1.2	23	0.7	64	0.9
6.わからない	133	3.8	324	9.3	457	6.6
無回答	49	1.4	48	1.4	97	1.4
合計	3,470	100.0	3,478	100.0	6,948	100.0

問14-3〔共通〕 事前に本人の意思の確認ができなかった患者の場合、「家族や後見人が延命医療を拒否したら、それを本人の意思の代わりとして治療方針などを決定すればよい」(代理人による意思表示)という考え方についてどう思いますか。(〇は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.それでよいと思う	272	29.4	1,055	30.4	965	27.7	2,292	29.1
2.そうせざるを得ないと思う	397	42.9	1,299	37.4	1,148	33.0	2,844	36.1
3.そうは思わない	32	3.5	91	2.6	153	4.4	276	3.5
4.その時の状況による	172	18.6	900	25.9	994	28.6	2,066	26.2
5.その他	4	0.4	3	0.1	1	0.0	8	0.1
6.わからない	19	2.1	71	2.0	175	5.0	265	3.4
無回答	30	3.2	51	1.5	42	1.2	123	1.6
合計	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

問14-3補問4 (問14-3で3以外を選びの方に)代理による意思表示の時、代理として意思表示する人は誰が適当だと思いますか。(〇は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.配偶者	574	66.4	2,241	67.3	2,116	64.5	4,931	66.0
2.兄弟姉妹	6	0.7	36	1.1	49	1.5	91	1.2
3.子供	96	11.1	364	10.9	431	13.1	891	11.9
4.親	8	0.9	129	3.9	132	4.0	269	3.6
5.後見人	35	4.1	108	3.2	119	3.6	262	3.5
6.家族以外の親しい人	2	0.2	4	0.1	2	0.1	8	0.1
7.主治医	3	0.3	21	0.6	41	1.2	65	0.9
8.主治医以外の医師	1	0.1	6	0.2	6	0.2	13	0.2
9.病院や介護施設の職員	0	0.0	2	0.1	5	0.2	7	0.1
10.福祉事務所など公的機関に所属する人	1	0.1	2	0.1	7	0.2	10	0.1
11.その他	69	8.0	158	4.7	48	1.5	275	3.7
12.わからない	52	6.0	177	5.3	228	6.9	457	6.1
無回答	17	2.0	80	2.4	99	3.0	196	2.6
合計	864	100.0	3,328	100.0	3,283	100.0	7,475	100.0

問14-3補問5 (問14-1で2又は3をお選びの方に)家族の中で意見がまとまらない場合、意思表示の書面がない時、延命医療の中止の判断はどのようになさいますか。(〇は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.家族等、多数の意見に従ってほしい	10	7.6	22	4.9	56	10.2	88	7.8
2.最も身近な人の意見に従ってほしい	60	45.5	277	61.1	300	54.7	637	56.2
3.担当する医師の考えで決めてほしい	8	6.1	11	2.4	17	3.1	36	3.2
4.全員一致しなければ、延命医療が継続されてもやむを得ない	25	18.9	25	5.5	35	6.4	85	7.5
5.わからない	7	5.3	12	2.6	16	2.9	35	3.1
無回答	22	16.7	106	23.4	124	22.6	252	22.2
合計	132	100.0	453	100.0	548	100.0	1,133	100.0

問15〔共通〕 単なる延命医療を続けるべきか中止すべきかという問題について、医師と患者の間で十分な話し合いが行われていると思われますか。(○は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.行われていると思う	131	14.1	480	13.8	663	19.1	1,274	16.2
2.不十分と思う	280	30.2	1,117	32.2	798	22.9	2,195	27.9
3.行われているとは思わない	203	21.9	697	20.1	570	16.4	1,470	18.7
4.その時の状況による	234	25.3	959	27.6	800	23.0	1,993	25.3
5.その他	10	1.1	37	1.1	15	0.4	62	0.8
6.わからない	37	4.0	106	3.1	588	16.9	731	9.3
無回答	31	3.3	74	2.1	44	1.3	149	1.9
合計	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

問16〔共通〕 終末期医療において、治療方針について医師や看護・介護職員等の間に意見の相違がおこったことがありますか。(○は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.ある	407	44.0	1,581	45.6	607	17.5	2,595	33.0
2.ない	472	51.0	1,787	51.5	2,659	76.5	4,918	62.5
無回答	47	5.1	102	2.9	212	6.1	361	4.6
合計	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

問16補問 (問16で1をお選びの方に) その場合、意見の調整を多くの場合どのように図ってきましたか。(○はいくつでも)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.主治医の意見にもとづく	65	16.0	740	46.8	294	48.4	1,099	42.4
2.患者を担当している看護・介護職員の意見にもとづく	7	1.7	34	2.2	31	5.1	72	2.8
3.主治医と患者を担当している看護・介護職員の意見にもとづく	106	26.0	275	17.4	119	19.6	500	19.3
4.患者本人または家族との意見にもとづく	305	74.9	992	62.7	286	47.1	1,583	61.0
5.その他	19	4.7	32	2.0	12	2.0	63	2.4
6.わからない	4	1.0	20	1.3	42	6.9	66	2.5
無回答	1	0.2	8	0.5	5	0.8	14	0.5
回答者数	407	100.0	1,581	100.0	607	100.0	2,595	100.0

問17 あなたは、終末期医療において、どのようなことを今後重点的に行うべきだとお考えですか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.痛みなど症状の緩和 方法の徹底と普及	755	81.5	2,971	85.6	2,669	76.7	6,395	81.2
2.患者や家族に関する 専門的な精神科医やカ ウンセラーの関与	426	46.0	2,098	60.5	1,687	48.5	4,211	53.5
3.治療等に関する、医 師/看護師/介護職員と 患者・家族との話し合い	735	79.4	2,532	73.0	2,087	60.0	5,354	68.0
4.患者の死後、残され た遺族に対する援助 サービス	182	19.7	897	25.9	452	13.0	1,531	19.4
5.患者や家族の看護に 専門的な知識・技術を もった看護師の関与	312	33.7	1,042	30.0	716	20.6	2,070	26.3
6.終末期医療における チーム医療の充実	507	54.8	2,153	62.0	1,875	53.9	4,535	57.6
7.その他	31	3.3	40	1.2	34	1.0	105	1.3
8.特になし	11	1.2	6	0.2	41	1.2	58	0.7
無回答	44	4.8	43	1.2	43	1.2	130	1.7
回答者数	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

問18〔共通〕 あなたは、終末期医療の普及に関し、どのようなことを充実していくべきだとお考えですか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.終末期医療従事者数 の確保	428	46.2	1,899	54.7	1,527	43.9	3,854	48.9
2.医師・看護師や介護 職員への卒前後教育 や生涯研修の充実	542	58.5	1,461	42.1	1,257	36.1	3,260	41.4
3.研究活動の推進	126	13.6	472	13.6	381	11.0	979	12.4
4.患者、家族への相談 体制の充実	554	59.8	2,496	71.9	2,162	62.2	5,212	66.2
5.在宅医療で十分な終 末期医療が行えるよ うな体制づくり	561	60.6	2,475	71.3	1,935	55.6	4,971	63.1
6.緩和ケア病棟の設置 と拡充	442	47.7	2,152	62.0	1,687	48.5	4,281	54.4
7.一般病棟において十 分な終末期医療が行 える体制づくり	257	27.8	1,247	35.9	1,203	34.6	2,707	34.4
8.一般市民に対する教 育活動	323	34.9	516	14.9	327	9.4	1,166	14.8
9.意思表示の事前文書 などの法的整備	347	37.5	1,260	36.3	920	26.5	2,527	32.1
10.終末期医療への経 済的評価	351	37.9	1,267	36.5	887	25.5	2,505	31.8
11.その他	19	2.1	25	0.7	10	0.3	54	0.7
12.特になし	11	1.2	11	0.3	67	1.9	89	1.1
無回答	41	4.4	41	1.2	53	1.5	135	1.7
回答者数	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

問19〔共通〕 あなたは、終末期医療に対して、悩みや疑問を感じた経験がありますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.頻繁に感じる	319	34.4	703	20.3	371	10.7	1,393	17.7
2.たまに感じる	500	54.0	2,429	70.0	2,160	62.1	5,089	64.6
3.感じたことはない	37	4.0	193	5.6	754	21.7	984	12.5
無回答	70	7.6	145	4.2	193	5.5	408	5.2
合計	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

問19補問〔医師〕 (問19で1か2をお選びの方に)痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)患者の診療にあなた自身が携わって、どんな難しさを感じていますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

	医師	
	回答者数	%
1.患者へ病名、病状の説明をすること	438	53.5
2.痛みをはじめとした症状を緩和すること	337	41.1
3.患者や家族と話し合う時間を持つこと	309	37.7
4.患者や家族のための病院設備や終末期医療施設が乏しいこと	390	47.6
5.在宅医療を実施したくても、体制が十分でないこと	409	49.9
6.延命のための医療を中止すること	286	34.9
7.医療チームで意見がわかれること	86	10.5
8.その他	55	6.7
9.特になし	8	1.0
無回答	7	0.9
回答者数	819	100.0

問19補問〔看護職員・介護職員〕 (問19で1か2をお選びの方に)痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)患者の看護及び介護にあなた自身が携わって、どんな難しさを感じていますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

	看護職員		介護職員		合計	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.患者へ病名、病状の説明をすること	1,277	40.8	637	25.2	1,914	33.8
2.痛みをはじめとした症状を緩和すること	2,027	64.7	1,707	67.4	3,734	65.9
3.患者や家族と話し合う時間を持つこと	1,481	47.3	873	34.5	2,354	41.6
4.患者や家族のための病院設備や終末期医療施設が乏しいこと	1,663	53.1	991	39.2	2,654	46.9
5.在宅医療を実施したくても、体制が十分でないこと	1,372	43.8	784	31.0	2,156	38.1
6.延命のための医療を中止すること	671	21.4	393	15.5	1,064	18.8
7.医療チームで意見がわかれること	383	12.2	169	6.7	552	9.7
8.医師と患者の板ばさみになること	728	23.2	203	8.0	931	16.4
9.その他	95	3.0	54	2.1	149	2.6
10.特になし	16	0.5	56	2.2	72	1.3
無回答	27	0.9	36	1.4	63	1.1
回答者数	3,132	100.0	2,531	100.0	5,663	100.0

【フェースシート】

最後に、あなたご自身のことについて、もう少しお伺いします。

〔共通〕

〈性別〉

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.男性	768	82.9	151	4.4	537	15.4	1,456	18.5
2.女性	114	12.3	3,223	92.9	2,839	81.6	6,176	78.4
無回答	44	4.8	96	2.8	102	2.9	242	3.1
合計	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

〈年齢〉

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.20～24歳	0	0.0	186	5.4	602	17.3	788	10.0
2.25～29歳	15	1.6	412	11.9	612	17.6	1,039	13.2
3.30～34歳	43	4.6	386	11.1	304	8.7	733	9.3
4.35～39歳	85	9.2	442	12.7	219	6.3	746	9.5
5.40～44歳	158	17.1	602	17.3	319	9.2	1,079	13.7
6.45～49歳	155	16.7	531	15.3	391	11.2	1,077	13.7
7.50～54歳	125	13.5	497	14.3	512	14.7	1,134	14.4
8.55～59歳	90	9.7	216	6.2	321	9.2	627	8.0
9.60～64歳	62	6.7	69	2.0	85	2.4	216	2.7
10.65～69歳	67	7.2	17	0.5	6	0.2	90	1.1
11.70歳以上	81	8.7	12	0.3	0	0.0	93	1.2
無回答	45	4.9	100	2.9	107	3.1	252	3.2
合計	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

【フェースシート】

〔医師〕

〈職場〉あなたの職場はどこですか。(○は1つ)

	医師	
	回答者数	%
1.診療所	3	0.3
2.緩和ケア病棟	6	0.6
3.一般病院	142	15.3
4.療養病床	701	75.7
5.その他	28	3.0
無回答	46	5.0
合計	926	100.0

〈所属する診療科〉あなたが所属する診療科をご記入ください。

	医師			医師	
	回答者数	%		回答者数	%
内科	583	63.0	小児外科	1	0.1
心療内科	1	0.1	皮膚科	3	0.3
精神科	21	2.3	泌尿器科	6	0.6
神経科(神経内科)	32	3.5	産婦人科	1	0.1
呼吸器科	7	0.8	リハビリテーション科	20	2.2
消化器科(胃腸科)	9	1.0	麻酔科	3	0.3
循環器科	12	1.3	老人科	26	2.8
外科	88	9.5	総合(診療)内科	2	0.2
整形外科	28	3.0	その他	3	0.3
脳神経外科	13	1.4	無回答	67	7.2
			合計	926	100.0

〔看護職員〕

〈資格〉あなたが取得した免許をお選び下さい。(○はいくつでも)

	看護職員	
	回答者数	%
1.保健師	19	0.5
2.助産師	23	0.7
3.看護師	2,049	59.0
4.准看護師	1,439	41.5
5.社会福祉士	1	0.0
6.介護福祉士	12	0.3
7.その他	109	3.1
無回答	97	2.8
回答者数	3,470	100.0

〈職場〉あなたの職場はどこですか。(○は1つ)

	看護職員	
	回答者数	%
1.診療所	1	0.0
2.緩和ケア病棟	8	0.2
3.一般病床	256	7.4
4.療養病床	2,962	85.4
5.訪問看護ステーション	18	0.5
6.その他	110	3.2
無回答	115	3.3
合計	3,470	100.0

〔介護職員〕

〈資格〉あなたが取得した免許をお選び下さい。(○はいくつでも)

	介護職員	
	回答者数	%
1.介護福祉士	1,563	44.9
2.社会福祉士	10	0.3
3.その他	1,103	31.7
無回答	904	26.0
回答者数	3,478	100.0

【フェースシート】

〔共通〕

〈質問に答えることになった理由〉あなたをご所属の医療機関・施設内で、この質問票への記入を担当した理由は次のうちどれですか。(○はいくつでも)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.勤務する診療科/部署の性格上この質問票に関係が深いから	350	37.8	549	15.8	579	16.6	1,478	18.8
2.高齢者の医療・介護担当だから	444	47.9	1,871	53.9	2,446	70.3	4,761	60.5
3.緩和ケアに所属しているから	15	1.6	62	1.8	69	2.0	146	1.9
4.患者の看取りが多いから	143	15.4	453	13.1	210	6.0	806	10.2
5.役職者だから	318	34.3	722	20.8	272	7.8	1,312	16.7
6.その他	91	9.8	486	14.0	348	10.0	925	11.7
無回答	30	3.2	286	8.2	310	8.9	626	8.0
回答者数	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

〈入院〉あなたやご家族の方で、最近5年間に病気やけがで入院したことがある方はいらっしゃいますか。次の中からお選びください。(○は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.自分が入院した	94	10.2	283	8.2	244	7.0	621	7.9
2.家族が入院した	466	50.3	1,829	52.7	1,725	49.6	4,020	51.1
3.自分、家族ともに入院した	24	2.6	117	3.4	79	2.3	220	2.8
4.その他	12	1.3	81	2.3	90	2.6	183	2.3
5.わからない	5	0.5	9	0.3	22	0.6	36	0.5
6.入院したものはいない	297	32.1	1,039	29.9	1,146	32.9	2,482	31.5
無回答	28	3.0	112	3.2	172	4.9	312	4.0
合計	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

〈死別の経験〉あなたは、最近5年間に身近な大切な人の死を経験されましたか。(○はいくつでも)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.家族を亡くした	225	24.3	899	25.9	909	26.1	2,033	25.8
2.親戚を亡くした	306	33.0	1,128	32.5	1,176	33.8	2,610	33.1
3.友人を亡くした	159	17.2	334	9.6	364	10.5	857	10.9
4.経験をしていない	325	35.1	1,230	35.4	1,148	33.0	2,703	34.3
無回答	33	3.6	156	4.5	197	5.7	386	4.9
回答者数	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

【フェースシート】

〔共通〕

〈経験1〉痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)患者の診療/看護/介護に当たったことがありますか。(○は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.ある	828	89.4	2,844	82.0	2,380	68.4	6,052	76.9
2.ない	76	8.2	514	14.8	912	26.2	1,502	19.1
3.その他	0	0.0	10	0.3	14	0.4	24	0.3
無回答	22	2.4	102	2.9	172	4.9	296	3.8
合計	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

〈経験2〉持続的植物状態で、治る見込みがない患者の診療/看護及び介護に当たったことがありますか。(○は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.ある	811	87.6	2,671	77.0	1,992	57.3	5,474	69.5
2.ない	93	10.0	691	19.9	1,311	37.7	2,095	26.6
3.その他	0	0.0	7	0.2	13	0.4	20	0.3
無回答	22	2.4	101	2.9	162	4.7	285	3.6
合計	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

〈経験3〉脳血管障害や痴呆等によって日常生活が困難であり、さらに、治る見込みのない疾病に侵されたと診断された患者の診療/看護/介護に当たったことがありますか。(○は1つ)

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
1.ある	888	95.9	3,126	90.1	2,806	80.7	6,820	86.6
2.ない	14	1.5	235	6.8	487	14.0	736	9.3
3.その他	1	0.1	1	0.0	11	0.3	13	0.2
無回答	23	2.5	108	3.1	174	5.0	305	3.9
合計	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0

〈性×年齢別〉

	医師		看護職員		介護職員		全体	
	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%	回答者数	%
男性 20歳代	10	1.1	58	1.7	353	10.1	421	5.3
30歳代	95	10.3	54	1.6	130	3.7	279	3.5
40歳代	264	28.5	33	1.0	33	0.9	330	4.2
50歳代	195	21.1	6	0.2	19	0.5	220	2.8
60歳以上	202	21.8	0	0.0	2	0.1	204	2.6
女性 20歳代	5	0.5	540	15.6	861	24.8	1,406	17.9
30歳代	33	3.6	773	22.3	390	11.2	1,196	15.2
40歳代	49	5.3	1,098	31.6	676	19.4	1,823	23.2
50歳代	20	2.2	707	20.4	810	23.3	1,537	19.5
60歳以上	7	0.8	98	2.8	89	2.6	194	2.5
無回答	46	5.0	103	3.0	115	3.3	264	3.4
合計	926	100.0	3,470	100.0	3,478	100.0	7,874	100.0